



主要な農作物の生育情報

平成29年度 第9号

(平成29年12月5日)

福島県農林水産部農業振興課



【野菜】

1 秋冬にら

概ね良好に生育しており、現在、2年株の2番刈りの収穫期を迎えており、平年並となっています。1年株の被覆は12月上旬から始まり、収穫は平年並の12月下旬から始まる見込みです。今後、収穫量が増加する見込みです。

病害虫は、一部のほ場で白斑葉枯病が発生しています。

2 いちご

概ね良好に生育しています。収穫は平年並の11月上中旬から始まり、現在は第1次腋花房の出蕾から開花期を迎えています。今後は収穫量が増加する見込みです。

病害虫は、一部のほ場でうどんこ病、ハダニ類が発生しています。

3 秋冬ねぎ

概ね良好に生育しています。収穫は平年並の11月下旬から始まり、今後は収穫量が増加する見込みです。

【果樹】

1 りんご

(1) 「ふじ」の収穫期と果実品質（農業総合センター果樹研究所）

「ふじ」の収穫盛日は平年より4日遅くなりました。果実品質は、果実重は347gで平年並、糖度(° Brix)は14.7で平年よりやや低く、蜜入り指数は2.0で昨年より高くなりました。

アントシアニン含量は満開後180日以降高くなり、果実の着色は良好でした。果肉硬度は平年より低く推移し、収穫期における果肉硬度は12.3lbsで平年よりやや低くなりました。

(2) 花芽分化率（農業総合センター果樹研究所）

花芽分化率は「つがる」が88.7%（平年比111%）で平年より高く、「ふじ」は66.5%（平年比96%）でほぼ平年並となっています。また、一部の頂芽で褐変が認められています。

2 なし

(1) 花芽分化率（農業総合センター果樹研究所）

予備枝新梢の腋花芽の花芽分化率は「幸水」が55.8%（平年比105%）で平年よりやや高く、「豊水」は64.8%（平年比103%）でほぼ平年並となっています。

【花き】

1 ストック

年内出荷の作型は、生育初期の8月下旬以降の気温が低めに推移したため花芽分化が早まり、平年と比較して10日程度早い10月中旬からの出荷となりました。その後順調な出荷が続いていますが、平年よりも早めに出荷が終了する見込みです。

病害虫は、一部のほ場で灰色カビ病やコナガの発生が見られます。

2 シクラメン

出荷は、平年並の10月下旬から始まり、現在ピークを迎えています。夏季や10月の寡照により一部でやや軟弱な生育を示したものもありましたが、品質は概ね良好です。

病害虫は、一部のほ場で灰色カビ病やアザミウマ類の発生が見られます。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>

